



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「聖地旅行」その⑧

今日の訪問はマサダから始まる。世界遺産の一つで、死海西岸から四五十メートルもそそり立つ自然の要塞である。幸いにもそこまではケーブルカーが三分で私たちを運んでくれる。この地は紀元七十年にエルサレムがローマ軍に降伏した後も、残りの兵士たちがここに立てこもり、紀元七十三年にローマ軍によって陥落するまで、ユダヤ最後の砦として戦った地である。ローマ第十軍団は紀元七十二年秋からマサダの包囲に取り掛かるが、砦に侵入するための斜道が完成し、ローマ軍の攻撃が確実になるまで七カ月を要した。その前日、砦の中ではリーダーのエレアザル・ベン・ヤイルは、ローマ軍の手にかかって陵辱されるよりはユダヤ人の誇りにかけて死を選び、九六十人がそこで自決したのだった。そのことから「マサダを忘れるな」とはイスラエル兵士の合言葉になっているし、祖国防衛に就くイスラエル人はすべてここで宣誓するのだという。

実は、この要塞は紀元前三十五年にもヘロデ王によって造営されていたものである。城壁、見張り塔、倉庫、風呂、それに水槽と、驚異的な技術をもって建造されている。特に雨量の極端に少ないこの地で、よくも大勢の人々を支える水源を確保できたものだ。ホトホト感心してしまう。この辺りでは年に二、三度しか雨が降らない。しかも一度降ったら川となって流れる。ワジといわれるものだ。その川の水がマサダの西側にある高台から流れて来るので、それを中腹にある水がめに入るようにチャント幾つもの水路を設けているのだ。さらには、その水でサウナ風呂を楽しんでいた、というのだから恐れ入るではないか。

午後はヨルダン川での洗礼式だ。これまで洗礼はガリラヤ湖南端で行なわれていた。しかし、今回の洗礼場はヨルダン領と接しているカサルエルヤブドという所で死海まで七キロの地にある。ここは近年まで誰も入れなかった。今もその周りには多くの地雷が埋められていて、「危険」という看板が嫌でも目に飛び込んでくる。しかし四、五年前から、この地が開放されたことにより多くの洗礼希望者が集まるようになったのである。というのも、ここがバプテスマのヨハネによって主イエスご自身が洗礼を受けたとされる所だからである。

ヨハネは主が自分の方に来られるのを見て「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」(ヨハネ一・29)と言って主に洗礼を授けている。罪のない主イエスこそ、人類の罪を取り除くことができるという宣言である。その同じ場所で洗礼式を執行できるというのは、今回の旅でもっとも感動したひと時であった(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

